

英国の世界遺産ストーンヘンジで長岡の火焰型土器を展示！ 縄文文化の象徴として魅力を世界に発信します

長岡市は、このたび英国の歴史的建造物保護機関イングリッシュ・ヘリテージからの要請を受けて、馬高縄文館で保管している火焰型土器を貸し出すこととなり、同土器が世界文化遺産ストーンヘンジ^{*1}のビジターセンターで展示されることになりました。大英博物館に展示中の火焰型土器群に続いて、日本が誇る縄文文化の象徴として、世界に向けてその魅力を発信します。

※1 ストーンヘンジ (Stonehenge)

- ・英国南部のソールズベリー平原にある環状列石（ストーンサークル）。円形に並んだ直立した巨石とそれを囲む土塁からなる先史時代の遺跡で、その造営年代は縄文時代後半とほぼ重なる。世界文化遺産として1986年に登録。英国の国家遺産として保有・管理されている。

1 展示の概要

- (1) 主催 イングリッシュ・ヘリテージ
- (2) 名称 「Circles of Stone : Stonehenge and Prehistoric Japan」
(環状列石：ストーンヘンジと日本先史時代)
- (3) 期間 令和4年9月30日（金）～ 令和5年8月31日（木）
- (4) 場所 ストーンヘンジ・ビジターセンター（英国ソールズベリー）
- (5) 内容 ストーンヘンジとほぼ同時期に発展した縄文文化を紹介する特別展
 - ・「北東北・北海道の縄文遺跡群」として世界文化遺産登録された秋田県の大湯環状列石（鹿角市）、伊勢堂岱遺跡（北秋田市）、青森県の三内丸山遺跡（青森市）の土器や土偶などとともに、長岡市深沢町の岩野原遺跡の火焰型土器1点が出品
 - ・展示は、ストーンヘンジ研究の歴史における日本との関わり、ストーンヘンジがつけられた頃の日本、日本におけるストーンサークルなどがテーマ（ストーンヘンジの造営開始時期は火焰土器の時代と同じ5,000年前）

2 展示に至る経緯

- ・大英博物館への長岡市の火焰型土器の出品を調整した、英国のセインズベリー日本芸術研究所統括所長のサイモン・ケイナー博士が橋渡し役となって、令和元年（2019）7月、特別展の開催を企画していたイングリッシュ・ヘリテージと本市科学博物館の関係者が現地で協議を行うなどして、長岡市の火焰型土器が選定されました。
- ・今回の特別展は当初、令和2年（2020）9月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大で延期していたものです。

3 展示の意義

- ・展示される岩野原遺跡の資料は、火焰型土器の典型的な特徴をもつ個体で、重要文化財の馬高遺跡出土品に比べても遜色のないものです。岩野原遺跡出土品は、日本遺産^{*2}『なんだ、コレは！』信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」の構成文化財の一つです。
- ・世界中から年間100万人の観光客が訪れるストーンヘンジにおいて、秋田県や青森県の縄文土器や土偶など縄文文化の主要な遺物とともに紹介されることで、長岡の火焰型土器や縄文文化を世界に向けて効果的に発信することができます。同ビジターセンターで英国以外の資料が展示されるのは初めてです。

※2 日本遺産 (Japan Heritage)

- ・日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもの。長岡市を含む信濃川火焰街道連携協議会が提案し、平成28年に認定された。「なんだ、コレは！」のタイトルは、芸術家の岡本太郎が火焰土器を観て叫んだという言葉に由来する。

4 その他

- ・今回展示される長岡市の資料は1点だけですが、イングリッシュ・ヘリテージのホームページや英国の代表的な新聞ガーディアン紙の記事などで、縄文文化の象徴的遺物として岩野原遺跡の火焰型土器の写真が使用されており、関心の高さがうかがえます。

【イングリッシュ・ヘリテージ “CIRCLE OF STONE EXHIBITION” URL】

<https://www.english-heritage.org.uk/visit/places/stonehenge/things-to-do/exhibitions/circles-of-stone/>



【ガーディアン紙 “Stonehenge Exhibition” URL】

<https://www.theguardian.com/uk-news/2022/may/04/stonehenge-exhibition-explores-parallels-with-japanese-stone-circles>



- ・平成28年（2016）10月から大英博物館の日本ギャラリー（ルーム92）では、長岡市の火焰型土器など4点を常設展示を継続し、好評を博しています。

<現地写真の提供について>

- ・ストーンヘンジ・ビジターセンター現地における長岡市の火焰型土器の展示風景について、写真の提供を希望する場合は、件名を「ストーンヘンジVC写真(報道社名)」とし、本文に社名および担当者名とメールアドレスを明記の上、9月29日（木）午後5時までに科学博物館宛てメール (kahaku@city.nagaoka.lg.jp) にて送信してください。
- ・希望のあった社には10月3日（月）午後5時までに写真のデータをお送りします。届かない場合は、科学博物館へご連絡ください。
- ・なお、写真については、セインズベリー日本藝術研究所と提携を結び今回の展示資料の輸送等に同行している新潟県立歴史博物館の宮尾亨専門研究員から撮影・提供いただく予定です。

問い合わせ：教育部科学博物館 小熊
電話 0258-32-0546



長岡市岩野原遺跡の火焰型土器



ストーンヘンジ



EXHIBITIONS

Home > Visit > Places To Visit > Stonehenge > Things To See And Do > Exhibitions > Circles Of Stone Exhibition

CIRCLES OF STONE EXHIBITION

CIRCLES OF STONE: STONEHENGE AND PREHISTORIC JAPAN

30 September 2022 - August 2023

BOOK NOW >



ABOUT THE EXHIBITION

This September, a new exhibition celebrating the rich culture of prehistoric Japan and the fascinating connections with Stonehenge will open at the visitor centre.

Circles of Stone: Stonehenge and Prehistoric Japan will tell the story of prehistoric Japan through its



Suedai Stone Circles © Kitakita City Board of Education



Stonehenge © English Heritage Trust

WHAT TO SEE

Circles of Stone will feature exceptional objects, some of which have never before been seen outside of Japan. Key loans include a flame pot: a highly decorated type of Jomon pottery whose fantastical shape evokes blazing flames. The best flame pots are occasionally today designated as National Treasures, demonstrating the impact of these objects in contemporary Japan. Flame pots are as much an icon of Japanese prehistory as Stonehenge is emblematic of prehistoric Britain. Each provokes astonishment at the skill and

